

第3回 富士川町民体育館建設基本計画検討委員会 会議録

- 1 日時 平成30年2月14日(水) 19:30~21:52
2 場所 富士川町民体育館
3 出席者 委員:14名出席
※欠席者:4名、傍聴者:1名

4 議事

※議事の前に既存の町民体育館の諸室を見学

- (1) アリーナ及び諸室等の機能と規模について
- (2) その他

※事務局から資料を用いて一括で説明

質疑

- (1) アリーナ及び諸室等の機能について

事務局:現在の町民体育館では、バレーボール2面を取ることが出来ます。昨年の検討結果では、9人制バレーボール3面取ることが出来るアリーナの広さになっています。そのうち1面をサブアリーナとしても利用出来るような想定をしています。第2回の検討委員会で視察をした白州体育館は6人制バレーボールが3面、9人制バレーボールはセンターコートで1面となっております。また、町民体育館は避難所となっており、町防災計画によると収容人数が544人となっております。これは1人あたり3㎡の計算をしており、昨年の検討結果の面積から計算すると722人の収容人数となります。

○委員:昨年の検討結果を見ると、アリーナの広さが2,160㎡となっている。大きい体育館を造れるならばそれが一番良いと思うが、庁舎の建て替えなど7大事業を進める中で、町の財政も大変厳しい状況です。また、現状の体育館を拝見したところスポーツ競技を行うにあたりこの大きさでも十分と感じました。今の規模くらいで使い勝手の良い体育館が良いのではないかと思います。

○委員:体育館本体の金額はどのくらいですか。

事務局:詳細の見積はまだ出ていませんが、概ね全体で約35億かかると見込んでいます。そのうち体育館本体が約20億です。これは標準的な面積の体育館の㎡あ

たりで計算したものです。冷暖房機能を付けるとさらに数億はかかるという試算です。

○委員：土地がどこになるかによって、全体の金額が変わってくるのではないのでしょうか。

事務局：町民体育館ですので、大きな土地が必要になりますが、まだ候補地は決まっておられません。町有地なのか私有地なのかによっても変わると思います。

○委員：約35億かかるといってもなかなかピンときません。町民1人あたりどのくらいかかるのか、利息等もかかるなかで何年かけて償還できるのかといったことの資料はありますか。また、昨年の検討結果より小さいサイズだったらもう少し安くなるとか、ランニングコストがこのくらいかかるとかの提案がないとなかなか判断できないです。

○委員：約35億といっても今の段階では、漠然としているとは思いますが、なかなか現状で具体的な額を示すのは難しいと思います。しかし、最低限これだけの規模・機能は無いと困るという考え方の中で縮小していくことも必要だと思います。

事務局：JRの補償と建設に係る費用の補助金を活用しようかと考えております。JRの補償についてはまだ金額は示されておられません。補助金はこれから精査してどの補助金を活用するか検討してまいります。いずれにしても町からの持ち出しもかなりかかると思います。

○委員：昨年の検討結果は、予算より先に機能を先に考えている。先に金額の議論をするのであれば、町の予算を決めてもらってその中で作れるものを造れば良いと思う。進め方としてどちらを優先するかだと思う。

事務局：まず、アリーナの面積をどのくらいにするかを考えるのが基本となるかと思えます。30年ほど前の文科省が出した答申ですが、市町村が持つべき体育館の規模は概ね3,000㎡以上が望ましいとあります。また、補助金についてですが、条件として、建物の面積が2,000㎡から4,000㎡までというものがあります。仮にこの補助金を利用したら、昨年の検討結果では5,100㎡ですので、4,000㎡を上回った分は補助を受けられないことになります。ですので、面積が3,000㎡から4,000㎡というのは財政的に考えるのであれば1つの目安になると思います。

○委員：第1回の検討委員会で、昨年の検討結果を見たときは、かなり大きな規模の体育館を想定しているなと思いました。おそらく、利用者の方を中心に意見を集約してそれを積み上げた結果だと思いますが、4,000㎡くらいがちょうどいいのではと考えます。昨年の検討結果である、アリーナ2,200㎡はそのままにして、その他の諸室を削っていけばよいと思います。例えば、多目的室は別の施設で代替が利きそうですし、会議室は3つもいらないと思います。玄関とロビーについてもかなり広いものを想定しています。このような部分を削れば、4,000㎡くらいにはなるのではと思います。体育館の建設にあたり、財政面も気にしなければならないので、この検討委員会の中で、規模や機能において優先順位を考え、削れるところを提案しながら調整していくのも必要と感じました。

○委員：昨年の検討結果から、削れるものは削って4,000㎡くらいの面積のものもシミュレーションして提案しても良いのではと思います。

○委員：前回、白州体育館を視察して、大きな体育館だと感じましたが、資料を見ると現在の町民体育館と面積ではほとんど変わらないことが分かりました。コスト面を考えても、昨年の検討結果を基本にしながら、白州体育館くらいに収まるのが良いのではと思いました。

○委員：補助金を活用するにあたり、必須条件がいくつかあったかと思います。

事務局：補助金をもらうのにあたり、トレーニング室、シャワー・更衣室、体力相談室、研修室等の必須条件があります。観客席について、プロ選手を呼んでスポーツ教室などのイベントをするのに必要な席数が600席以上という条件のものがありました。昨年の検討結果は、それらを踏まえたものになっております。

○委員：補助金の条件で、各部屋の広さの規定はありますか。

事務局：各部屋の規定はありません。学校施設環境改善交付金という補助金では、全体で2,000㎡から4,000㎡という条件です。

○委員：補助金は何種類かあるようですが、複数の補助金をもらえるのですか。

事務局：どれか1つしか選択できません。

○委員：補助金の条件を満たす施設を考えた方が良いと思います。

事務局：補助金に絡まない設備を削っていくという線引きのやり方もあるかと思いますが、今の時点で、用地を含め総額を試算するのは、候補地が決まっておられないので、難しいです。

○委員：白州体育館では、6人制バレーボール3面使用できますが、コート間が4m、エンドラインが7mとなっています。大会の規定がコート間5m、エンドラインが8mなので大会を行えないということですか。

事務局：日本バレーボール協会が主催する大会ではコート間5m、エンドライン8mという規定があるようです。これらの大会は、ほとんど全国大会クラスの大会ということですか。

○委員：県大会クラスでは開催できるのでしょうか。

○委員：高校の大会でも、大会の運営や進行上、安全であればコート間の規定に則らなくても試合を行っています。全国大会につながる大会では、エンドライン8mゾーンがあって6m確保しなければならないという規定があります。それを超えて整備をしないと競技を行う上で条件を満たせません。県大会クラスでは、コート間は問題ないと思います。ただし、支柱を入れる穴は後付けが出来ないので、9人制も想定するのであれば最初に設計しておかなければなりません。

○委員：白州の体育館は9人制1面とれますが、昨年の検討結果では、9人制がコート間とエンドラインの規定を満たした上で3面取れる想定になっています。先程、大会を行う上でも、コート間はあまり問題にならないとありましたが、コートの周りに観客用のイスなどを出したりしたときにコート間に余裕がないと危険な場合があります。

○委員：あくまでも、競技を行う上で、支障がない程度の余裕があれば問題は無いと思います。大会を行う際にしてもイスなどの障害物の置き方やコートの取り方を工夫すればスペースも取れると思います。

○委員：そうすれば、昨年の検討結果では2,166㎡ですが、縦が現在の町民体育館の

長さで横が白州体育館の長さとして1, 645㎡となります。このくらいの面積のアリーナを提案するのもいいのではと思います。

○委員：正方形のアリーナは使い勝手が悪いと思います。白州体育館のような長方形が良いと思います。また、先程、白州体育館が大きく感じたと言いましたが、外観や高さでそう感じたと思います。レシーブをしてすぐ天井に当たってしまっは困りますので天井は高くしてほしいと思います。

○委員：外観について、四角いシンプルなものの方が良いのではないのでしょうか。

○委員：バレーボールのプレミアリーグのチームの体育館ですが、機能を重視した外観になっております。デザインにお金をかけずに機能重視の設計が望ましいと思います。

(2) その他

○委員：今後、検討していくのにあたり、昨年の検討委員会でも話が出ましたが、財政と照らし合わせていかないと機能等も想定しづらいと思います。現在想定している諸室等を図面にしてもらえるととても分かりやすいと思います。

○委員：設計図のようなものを資料として出すのは難しいと思いますが、各部屋の面積などを想定して組み合わせて絵にするというようなことでもいいと思います。

○委員：他の体育館の平面図などを参考にして、建設費の情報も集められれば、具体的に見えてくるとと思います。

○委員：今後の検討委員会のスケジュールはどのようになりますか。

事務局：この検討委員会は報告期限を設けておりません。現段階で、今年度中にまとめるのは難しいと思いますので、来年度以降も皆さまにご協力いただきながら審議していただきたいと思います。

○委員：この検討委員会ではどこまで決定していきますか。最終的には金額を決めますか。

事務局：昨年の検討委員会では、町民体育館の望ましい規模・機能を提案していただき、取りまとめたものを町長に報告しました。今回はその結果を精査しながら

規模・機能を検討していただきたいと思います。予算面については、その後になってしまいますが、今後資料をそろえながら提示していきたいと思っております。

○委員：現在の町民体育館は今年いっぱい使用できなくなりますので、新しい体育館ができるまでの期間どのように代替をするかも考えなくてはなりません。

○委員：現在の体育館の取り壊しはいつでしょうか。

事務局：今年の12月いっぱいまで利用し、それ以降に解体に入ります。平成31年の9月末までに更地にしてJRに引き渡しをします。解体をしてから新しい体育館ができるまでに約6年かかります。それまで皆さんにはご不便をおかけしますが、利用者の調整会議などをやりながら対応していきます。

○委員長：よろしいでしょうか。皆さん、ご意見をありがとうございました。皆様には今回の資料等を見返していただき今後に向け検討していただきたいと思います。

5 閉 会

○副委員長：お疲れ様でした。今後、分かりやすい資料を提供しながら進めていきたいと考えております。皆さまも色々と想定していただき次回も意見を出していただきたいと思います。ありがとうございました。

～委員会終了～ 【以上】